別紙１　研修の科目及び内容（全身性障がい課程）

計２０時間

科目記号・科目名	目的	内容
Ⅰ　講義（共通科目）　６時間		
(1)障がい者(児)福祉制度と移動支援事業 （２時間）	障がい者(児)福祉の制度と移動支援事業の内容、役割を理解する。	1　障がい者福祉の基本理念 2　障がい者福祉の最近の動向 3　移動支援事業について
(2)移動支援従業者の業務 （１時間）	移動支援従業者の業務内容を理解する。	1　移動支援従業者の業務内容 2　移動支援従業者の基本的な心得
(3)移動支援従業者の職業倫理 （１時間）	移動支援に従事する際の職業倫理について理解する。	1　福祉業務従業者としての倫理 2　移動支援においてとるべき基本的態度
(4)障がい者の人権 （２時間）	障がい者の人権について理解を深め、援助方法を学ぶ。	1　障がい者の人権についての理解 2　人権侵害の事例
Ⅱ　講義（障がい別科目）　５時間		
(5B)障がいの理解(全身性障がい) （２時間）	業務において直面する頻度の高い障がい・疾病を理解するとともに、介助に必要な状態像を把握する。	1　肢体不自由者(児)の原因疾患(脳性まひ、脳血管障がい、頸髄損傷など)及び症状の理解 2　肢体不自由者(児)の社会参加 3　移動介助の際の留意点
(6B)障がい者(児)の心理(全身性障がい) （１時間）	障がい者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	1　中途障がい者の障がい受容 2　先天性障がい者の自立 3　障がい者の心理と人間関係
(7B)移動介助の基礎知識(全身性障がい) （２時間）		
①姿勢保持について	良好な姿勢保持の必要性を理解するとともに、その方法を習得する。	1　良好な姿勢の必要性 2　良好な姿勢保持の方法 3　姿勢保持の留意点
②コミュニケーションについて	言語障がいについての理解を深め、言語障がいのある人への接し方を習得する。	1　言語障がいの種類と特徴 2　言語障がいのある人への接し方
③事故防止に関する心がけと対策	事故防止のための方法や事故がおきた時の対処方法を習得する。	1　事故防止のための移動の留意点 2　事故時の対応 3　介助者自身のからだの保護
Ⅲ　演習　９時間		
(8B)移動介助の基本技術(全身性障がい) （４時間）		
①抱きかかえ方及び移乗の方法	車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法を習得する。	1　床と車いす間の移乗 2　ベッドと車いす間の移乗 3　２人の介助者で行う場合
②生活行為の介助	外出時に排泄、食事、衣服の着脱を行う際に安全な介助方法を習得する。	1　食事の介助方法 2　衣服着脱の介助方法 3　排泄の介助方法
③介助に関わる車いすの理解	移動介助に必要な車いすについて知識を深め、それらの機能を把握する。	1　車いすの構造と機能 2　電動車いすの構造と機能 3　重度肢体不自由者用車いすの構造と機能

(9B)交通機関利用の介助演習(全身性障がい) （５時間） ※実習に先立ち、オリエンテーションを実施すること。 ※実際の公共交通機関等を利用すること。	車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する。	1　車いすの取り扱い方 2　車いす移動介助における注意 3　雨の日の介助 4　平地での移動 5　階段における移動 6　エレベーターの利用 7　エスカレーターの利用 (危険なため実習はせず、説明のみ) 8　トイレの利用 9　自動車の乗降 10　駅の改札 11　電車の乗降 12　バスの乗降 13　デパート・スーパーでの買い物 14　反省会